令和８年度入職した常勤医師をご紹介します

島野　一彦　整形外科医

東京都練馬区出身
獨協医科大学卒業
獨協医科大学整形外科医局
小山市民病院、はせがわ整形外科クリニック、
新上三川病院などで勤務

2026 年９月１日、城西病院の整形外科医として入職しました。

獨協医科大学を卒業し、同大学の整形外科医局に所属、研究などに従事しました。

「お年寄りを助ける手伝いが出来ればと、医師の道に進みました。医師の中でも、外科系に行きたいと思い、整形外科医が一番と選びました」と振り返ります。医局では「筋肉内の腫りゅうを主訴としたサルコイドーシス」などの研究を発表。整形外科医局からの派遣で城西病院の土日の当直や先輩医師の代役で診療も行っていたといいます。

「研究を学会発表するのは若い医師の登竜門となっていました。発表したサルコイドーシスとは、全身のさまざまな臓器に肉芽腫（にくげしゅ）と呼ばれる硬い小さなしこりができる、原因不明の病気で、このテーマで発表しました」と語ります。

はせがわ整形外科クリニック(宇都宮市)で10年間勤務。「クリニックでの経験から、根本的な治療では理学療法が必要不可欠と考えています。城西病院でも早く外来のリハビリができるようになればと考えています」と話します。

趣味は読書とレース観戦。「若いころは司馬遼太郎の本を読んでいました。今は、車などの趣味の本やスマホでネットを見ることが多いですね」と。「レース観戦は、子供と一緒に茂木のモビリティリゾートもてぎに行って、レースを観戦することが多いですね」といい、「レースは好きです。自分で運転するときは常に安全運転を心がけています」とにこやかに話します。

「栃木や茨城の西部は、車があると非常に便利な地域です。結婚して子供が生まれ、ずっと栃木で暮らしています」と振り返る。そして「城西病院でも堅実に仕事をすることが第一。城西病院は発展途上で、病院と一緒に成長していきたい」と意気込みを語ります。

©Tasseido group